

KotutoraTrail_USDJPY 使用説明書



copyright©Choice-Trade all rights reserved.

EA の説明・使用方法

使用通貨ペア	ドル円(他の通貨ペアでは使用できません)
使用時間足	1 時間足(ただしどの時間足でも使用可能、常時切り替え OK)
トレードスタイル	等間隔予約注文によるトラップ買い(もしくは売り)の繰り返し
最大ポジション数	予約注文含め最大で 100(100 まで行くことはほとんどあり得ない)
おおよそのトレード頻度	1 日 0.99 回程度
おおよそのポジション保有時間	12 時間～1 週間(オープンポジションになってから決済に至るまで)
説明・特徴	<p>等間隔予約注文によるトラップ買い(もしくは売り)の繰り返しを行う EA です。設定した方向だけの取引を繰り返します。発動したトラップが決済されて注文が無くなった場合、現在値から規定圏内であれば再度その位置に予約注文としてトラップが敷かれます。</p> <p>この EA はトレイリングストップを採用しており、決済は全てトレイルによる損切りになります。また、トレイルはエントリーと同時に発動されず、設定値(Trigger)よりも利益方向に進んだ状態での発動となる点が最大の特徴です。ですので、トラップ発動時は同時に損切りは入りません。この EA は設定した注文方向の逆へ著しく大幅な値動きがない限り、安定して残高を増やすことが可能です。ポイントとしては、沢山ポジションを保有しても問題のない、残高に見合った取引数量で設定することです。</p> <p>次ページの「パラメーターの入力」の設定も合わせて必ずお読みください。</p>
注意事項	<p>EA による既存の注文がある状態で Lots、UpperLimit、LowerLimit を変更した場合、既存の注文には反映されません。次のポジションから反映されます。</p> <p>EA による既存の注文がある状態でトラップ幅(TrapInterval)を変更する場合、そのまま変更すると既存の注文と干渉して、変更前の注文と変更後の注文の両方を参照して予約注文を配置してしまいます。トラップ幅(TrapInterval)を変更する場合は、一旦 EA を停止させ、既存のオープンポジションと予約注文を全て決済・キャンセルしてから行ってください。既存のオープンポジションを残したい場合は、一旦 EA を停止させ、既存の予約注文を全てキャンセルした後、マジックナンバーを変更してから EA を稼働してください。そうすることで EA は既存のオープンポジションを無視して無いものと判断しますので、干渉することなく稼働することが可能です。</p> <p>トレイル発動値(Trigger)ートレイル損切り値(TrailingSL)が、必ず 20 以上になるように設置してください。そうしない場合、トラップを敷く位置と現在値が近すぎ注文が通らなくなります。</p>

「パラメーターの入力」の設定

Lots (取引数量)	取引数量を 1000 通貨刻みで設定できます。 1 が 10 万通貨、0.1 が 1 万通貨、0.01 が 1000 通貨です。
BuyorSell (リピートする取引の方向)	一般的にはスワップ金利を獲得できる方向に取引を繰り返すケースが多いですが、買い注文、売り注文ともに可能です。 true が買い、false が売りです。初期設定値は true です。
TrapInterval (トラップを仕掛ける間隔)	トラップを仕掛ける間隔です。初期設定値は 30pips となっており、推奨としています。狭すぎると注文数が増えすぎたり注文が通りにくく(もしくは通らなく)なるため注意が必要です。
Trigger (トレイル発動値)	注文のトレイル発動値です。初期設定値は 60pips となっており、推奨としています。例えば 60pips の場合、トラップ発動から 60pips 利益方向に進んだ時点で損切りの予約注文が TrailingSL の値で入ります。この値が小さすぎると注文が通りにくく(もしくは通らなく)なるため注意が必要です。 前ページ注意事項を必ずお読みください。
TrailingSL (トレイル損切り値)	トレイリングストップの損切り値です。初期設定値は 30pips となっており、推奨としています。この値が小さすぎると注文が通りにくく(もしくは通らなく)なるため注意が必要です。
UpperLimit (トラップ配置を許可する上限レート)	トラップ配置を許可する上限レートです。初期設定値は 0 で、制限はありません。例えば、ドル円で 120.50 と設定すれば、それ以上にトラップは配置されません。
LowerLimit (トラップ配置を許可する下限レート)	トラップ配置を許可する下限レートです。初期設定値は 0 で、制限はありません。例えば、ドル円で 100.50 と設定すれば、それ以下にトラップは配置されません。
PreOrderNumber (上下にトラップを配置する数)	現在値から上下にトラップを配置する数です。初期値は 5 で、上下に 5 ずつ合計 10 個配置されるという意味になります。現在値の変動によってトラップが発動した場合、上下の数が維持されるように新しくトラップが追加され、また、余計になったトラップは削除されます。現在値の変動によりトラップの追加削除が行われるため、この値はほとんど変更する意味を持ちません。初期値 5 のままにされることを推奨します。 (タイミングにより、規定の数よりトラップが複数個多かったり少なくなったりする場合も一時的にあります)
MAGIC (マジックナンバー)	EA から発注される注文の識別子を設定できます。複数の EA を同時稼働する際は、干渉を防ぐためにそれぞれの EA のマジックナンバーを変更してください。EA を単独で稼働する場合は初期設定値のままで結構です。 マジックナンバーは 8 桁以下で設定してください。

利用規約

・注意事項

チョイストレード(以下、甲とする)が提供致します EA はメタトレーダー 4(以下、MT4 とする)専用です。他のチャートソフトでの動作は保障致しません。各 FX 業者の提供する MT4 のレートが配信されている時間やメンテナンス時間は、業者ごとに若干異なる場合があります。各 FX 業者の説明をよく確認してください。各 FX 業者の MT4 ごとに若干のレートのズレや遅れ、スプレッドに違いがあります。よって各 FX 業者の MT4 ごとでも、取引結果を見比べると若干の違いが生じることもあります。

どんな EA でも必ず理論値通りに動作するとは限りません。EA はサーバーからやってくるレートを処理し、EA からサーバーへ発注するといった双方向の通信が伴います。通信網が発達した現在でも、通信を介すシステムに絶対は存在しません。ロジックからずれた値で約定することや、もしくは決済することも十分に考えられます。サーバーの不具合や MT4 そのもののバグや不具合による EA への影響も考えられます。通信や EA、MT4 の能力を過信せず定期的なチェックが重要です。

以上の内容等に注意し、FX取引をされる際はすべてお客様の自己責任でお願い致します。

・免責事項

甲が提供致します EA は、甲の経験に基づきお客様に提供するものであり、お客様の収益を保証するものではありません。甲が提供致します EA の内容を参考にすることや、もしくは使用して、お客様にいかなる損害が生じた場合にも甲は一切の責任を負いません。また、お客様への事前の通知なく EA の内容の追加、変更、提供終了をすることができ、EA の改良や修正を行った場合にアップデート版を再度お届けする場合があります。お客様はこれらを承諾するものと致します。

・責任の所在

甲より提供致します EA の取引、情報、投資の最終決定はお客様ご自身の判断で行うものとし、お客様は、EA を利用もしくは参考にしての投資判断から生じたトレードの損失、また利益について甲は一切の責任を負わないものとします。お客様が EA を利用もしくは参考にすることによって第三者に対して損害を与えた場合、お客様は、自己の責任と費用負担において処理解決し、甲に損害を与えないものと致します。

・知的財産権

甲より提供致します EA に関する著作権等の知的財産権は甲に帰属します。お客様は EA を、甲に無断で私的利用の範囲を超えて利用することはできません。お客様は EA を、甲に無断で改変、デコンパイル(逆コンパイル)、編集、公表、販売、譲渡、無料提供することはできません。

・最後に

万が一、お客様と甲との間で紛争が生じた場合、双方は、ともに誠意をもって協議するものとします。